

|       |       |      |      |               |           |
|-------|-------|------|------|---------------|-----------|
| 領域    | 統合分野  | 授業科目 | 国際看護 | 単位 (授業時間/時間数) | 1 (14/15) |
| 開講年次  | 2年次   | 開講時期 | 前期   | 後期            | 通年        |
| 担当講師名 | 非常勤講師 | 講師所属 |      |               |           |

### 授業のねらい

人や物、情報が地球上を行き交うグローバル化を背景に、看護師も広い視野で物事を考えられる能力が求められている。

本授業ではまず、人々の健康にはその生活環境や、文化、宗教など文化社会的要因が関与していることに気づかせたい。またさまざまな国の現状を知り、世界の健康課題について考え、どのような看護を実践できるかについて考えることで、個人に対するケアであっても地球環境全体をみるグローバルな視点が必要であることに気づかせたい。

### 授業目標

1. 国際看護活動の基本的理論を理解することができる。
2. 世界で起こっている健康問題について知ることができる。
3. 人々の健康と、それに影響する要因を考えることができる。
4. 社会経済的背景・宗教・文化などの違いをふまえて対象を理解する必要性を認識できる。
5. 異なる背景を持つ対象への看護の方向性を考察することができる。

### 授業概要

1. 国際看護学の概念
2. 国際保健をめぐる世界の動きとグローバルヘルス
3. 国際機関・国際協力の仕組み
4. 世界の健康問題
5. 在日外国人の健康問題と異文化看護
6. 事例検討・発表

### 授業の進め方

講義、演習、グループ討論

### 教科書

系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学 看護の統合と実践 [3] (医学書院)  
 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学 [1] 看護学概論 (医学書院)

### 参考図書

### 評価方法

終講時 客観式テスト (70点)、演習・グループ討論 (30点)  
 試験時間は時間数に含む。